| 科目名 | | | 担当教員 | |
|---|---|---|---|---|
| 社会保障論 | | | 阿部　裕二 | |
| 科目コード | 科目単位 | スクーリング単位 | 履修方法 | 配当年次 |
| CA4107 | 4 | 2 | RorSR（講義） | 3年以上 |
| 生成AI利用レベル | | レポート　：　C | 試験（スクーリング含む）　：　C | |

科目の概要

**■科目の内容**

私たちの国の社会保障制度は、進展している少子高齢化のなかで構造的な転換期を迎えており、「社会保障革命」というべき各種の見直しが行われてきました。近年においても年金制度や医療（保険）制度などが改革の道を歩んでいます。まさに新しい生活保障システムが求められている時代ともいえるでしょう。とはいえ、「構造的な転換期」だからこそ原点に立ち返り、「社会保障とは何か」の古典的な議論も必要であると思われます。

そこで、本科目においては、社会保障の考え方や歴史等を踏まえて、「社会保障とは何か」をともに考え、その上で、各種社会保障制度の現状と課題について学んでいただきたいと思います。

**【教員等の実務経験による指導内容】**

社会保障に関する各種公開講座の講師や年金委員の経験をいかし、実例をあげながら講義を進めていきます。

**■到達目標**

１）社会保障における理念を説明することができる。
２）社会保障制度の仕組みと問題点を端的に説明することができる。
３）日常生活のなかでの社会保障の役割を説明することができる。
４）少子高齢社会におけるあるべき生活保障システムを自らの言葉で説明することができる。

**■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連**

とくに「俯瞰的な分析力」「開発・創造力」を身につけてほしい。

**■科目評価基準**

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

**■教科書・参考図書**

**【教科書】**

福祉臨床シリーズ編集委員会編『新・社会福祉士シリーズ12 社会保障（第2版）』弘文堂、2025年

**（最近の教科書変更時期）**2025年4月

**（スクーリング時の教科書）**上記教科書を参考程度に使用し、配付する資料を中心にして講義を行います。したがって、旧教科書と現教科書のいずれをお持ちでも、不利益にならないように配慮しています。

**【参考図書】**

１）阿部裕二監修『すぐに役立つ！　ケアマネ、生活相談員、生活支援員のための社会保障制度がわかる本』ナツメ社、2021年

２）椋野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障（最新版）』有斐閣アルマ

３）『社会保険のてびき（最新版）』社会保険研究所

## スクーリング

**▶オンデマンドのみ**

**■スクーリングで学んでほしいこと**

社会保障は比較的新しい概念ですが、今ではすっかり定着し、われわれの生活になくてはならない基礎的な社会制度に発展しています。しかし、皆さんはこれまでじっくりと「社会保障とは何か」について考えたことがあるでしょうか？

本講義のテーマは「社会保障の考え方と仕組みを理解し、自分なりの『社会保障観』を構築しよう」です。わが国における社会保障は、少子・高齢化をはじめとするさまざまな環境の変化のなかで、構造的転換期を迎えています。その際、「私たちの生き方（価値観の転換）」も同時に問われています。

そこで、講義ではこのような問題意識の下、社会保障の考え方や成立過程を考察しつつ、わが国の社会保障制度の現状と課題、そして少子高齢社会におけるあるべき生活保障システムを受講生の皆さんと共に考えていきたいと思います。

**■講義内容**

講義の流れを箇条書きとしてあげると、以下のようになります。

| 回数 | テーマ | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 私たちの生活の変容 | 少子高齢化、人口減少などの人口動態、家族形態、経済、労働環境等について学びます。 |
| 2 | 社会保障の枠組みと範囲 | 定義と範囲および役割について、歴的背景を含めて学びます。 |
| 3 | 社会保障を支える理念 | ナショナル・ミニマム、オプティマム、普遍主義と選別主義、ノーマライゼーションなどについて |
| 4 | 社会保障制度の展開過程 | イギリスを中心とした欧米の歴史、日本の歴史について、それぞれ学びます。 |
| 5 | 社会保険と社会扶助 | 社会保障の中核にある社会保険と社会扶助の内容と関係性および機能について学びます。 |
| 6 | 社会保障と財政 | 国と地方、社会保障給付費と社会支出の関係、国民負担率、経済と社会保障の相互作用等について |
| 7 | 公的保険制度と民間保険制度 | 自助の一つの形態としての民間保険の仕組みと社会保険との関係などについて学びます。 |
| 8 | 現代社会における社会保障制度の役割と取り組むべき課題 | 社会保障・税一体改革、一億総活躍社会などについて整理しつつ、自らの社会保障観について考えます（まとめ）。 |
| 9 | 社会保障制度の体系と年金保険の概要 | 社会保障制度の体系を改めて確認するとともに、年金保険の仕組みを学びます。 |
| 10 | 年金保険制度の諸問題 | 年金保険（国民年金、厚生年金）の概要と諸問題について学びます。 |
| 11 | 医療保険制度の概要 | 医療保険制度の仕組みと健康保険や国民健康保険などの制度概要について学びます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 12 | 医療保険制度の諸問題 | 高齢者医療や公費負担医療、医療供給体制を考察しつつ、医療保険の諸課題について学びます。 |
| 13 | 雇用保険制度と労働者災害補償保険制度の概要と諸問題 | 雇用保険や労働者災害補償保険などの労働保険の仕組みと諸課題について最近の状況を交えながら学びます。 |
| 14 | 介護保険制度の概要と諸問題 | 介護保障という観点から介護保険の限界と、その他の受け皿の在り方および諸課題について学びます。 |
| 15 | 社会手当と公的扶助の概要と諸問題 | 社会手当としての児童手当などの仕組みと諸課題について学びます。 |
| 16 | 社会保障制度の課題と将来（まとめ） | 2025 年問題、2040 年問題など、社会保障が直面する社会状況を踏まえながら、あるべき社会保障システムを考えます。 |
| 17 | スクーリング試験 | |

**■講義の進め方**

スクーリング時には、作成した『理解しやすい社会保障論講義資料集』を配付して、この資料集を中心にして講義を行います。

**■スクーリング　評価基準**

スクーリング試験のみ（100%）（持込不可）で評価します（稀ですが受講態度を加味する場合もあります）。試験では 2 題を選択して解答（記述式）していただきます。なお、試験では単なる知識の確認ではなく、スクーリングで学んだ内容を踏まえた上で、試験テーマに沿って皆さん自身の見解をどれだけ論述できるかについて問います。詳しくはスクーリング時に示します。

**■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）**

担当教員からの事前学習としての要望は次の一言です。

「スクーリング講義内容」（17 項目）に該当する箇所を教科書に沿ってある程度読んで出席してください。つまり少ない講義回数のなかで、少しでも内容の理解を深めるためには、予習・事前学習が欠かせません。もちろん、すべて完璧に覚えてきてくださいというわけではありません。受講した際に、「なんかその言葉は聞いたこと、見たことがあるぞ。なるほど、あそこに書いてあったことは、そういうことだったのか」という程度で結構です。

私としては、ある程度、予習・事前学習をされてきたことを前提として講義を進めたいと考えています。万一、事前学習なし（準備不足）の場合は、苦痛でしかも怒濤のように時間だけが過ぎ去ってしまうかもしれません。

皆さんにとって、有意義な時間が共有できるように努めますし、同時に祈念しております。

## レポート学習

**■在宅学習 15 のポイント**

| 回数 | テーマ | 学習内容 | 学びのポイント |
|---|---|---|---|
| 1 | 社会の変容<br>（第 1 章） | 社会保障を学ぶ前に、社会保障を取り巻く私たちの生活環境の変化を理解する。<br><br>キーワード：少子高齢化、家族形態、就業構造、経済、ワークライフバランスなど | 少子高齢化、人口減少、家族形態の変化、就業構造（形態）の多様化など、私の生活環境は変化し続けています。これらの生活環境の変化を理解し、これらから学ぶ社会保障の前提を把握しましょう。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2 | 社会保障の概念と範囲及び対象者、役割<br>(第２章) | 社会保障の概念と範囲、対象者を確認するとともに、現代社会における社会保障の役割と意義について理解する。<br><br>キーワード：歴史的形成体、生活安定・向上機能、所得再分配機能、経済安定機能など | 歴史的形成体である社会保障をどのように理解するのか、また範囲には何が含まれるのか、そしてそれは各国で異なるのかなどを学びます。また、現在の社会保障には、国民の生涯にわたって健やかで安心できる生活を保障する役割があるが、そのために社会保障はどのように機能するのかについて学びます。 |
| 3 | 社会保障の理念<br>(第２章) | 社会保障を支える理念にはどのようなものがあるのかについて考えてみましょう。<br><br>キーワード：ミニマムとオプティマム、普主義と選別主義、ノーマライゼーションなど | 社会保障の理念を単に整理するのではなく、それらの理念に問題点はないかという視点でまとめることが重要です。 |
| 4 | 社会保障制度の展開（欧米と日本）<br>(第２章) | イギリスを中心とした欧米と日本の社会保障の歴史を理解する。<br><br>キーワード：救貧法、失業法、恤救規則、GHQ、国民皆保険・皆年金など | 貧困観の変遷及び社会保険と公的扶助の統合の視点から、イギリスを中心とした欧米と日本の社会保障の歴史（特徴）について学びましょう。 |
| 5 | 社会保障の財源と給付の動向<br>(第３章) | 社会保障における給付と負担の関係と社会支出、社会保障給付費の現状および国民負担率について理解する。<br><br>キーワード：一般会計、地方経費、社会支出、社会保障給付費、国民負担率など | 社会保障における財源を国と地方の側面から学ぶとともに、財源構成の内容特徴について学びます。また、社会支出と社会保障給付費から日本の特徴および国民負担率や潜在的国民負担率の意味を理解します。また、財源構成の内容特徴についても理解深めます。 |
| 6 | 社会保険と社会扶助の成立要件と特徴<br>(第４章) | 保険や社会保険の成立要件や社会保険の理論と実際について理解します。<br><br>キーワード：強制加入、社会保険方式、社会扶助方式など | 社会保険といえども保険の一つであるため、まず、保険の成立要件を把握したうえで、社会保険の成立要件を学びます。そして、仕組み上の社会保険の理論と実際について学びます。 |
| 7 | 民間保険や企業年金等の役割と機能<br>(第５章) | 民間保険や企業年金の枠組みと概要について理解する。<br><br>キーワード：確定給付企業年金、確定拠出年金（企業型・個人型） | 民間保険を概観し、企業年金の役割を理解したうえで、企業年金の種類を学びます。また、近年拡大傾向にある確定拠出年金（個人型：iDeCo）の内容と現状についても学びます。 |
| 8 | 公的年金の構造と国民年金の仕組み<br>(第６章) | 二階建てとしての年金保険の構造特に国民年金の仕組みを理解する。<br><br>キーワード：賦課方式と積立方式、二階建て構造、基礎年金、国民年金基金など | 公的年金の財政方式とともに、国民年金と厚生年金の二階建て構造であることを学び、国民年金の給付内容を含めた仕組みについて理解を深める。 |
| 9 | 公的年金保険（厚生年金保険）の仕組みと諸問題<br>(第６章) | 厚生年金保険の仕組みと、公的年金が抱える問題点について理解する。<br><br>キーワード：標準報酬、保険料率、老齢厚生年金、障害厚生年金、遺族厚生年金、厚生年金基金、空洞化など | 厚生年金保険の仕組み、つまり保険者、被保険者、保険料、給付内容等について学びます。その際、国民年金と比較しながら整理をすると理解が深まります。また、同時に、公的年金が抱える問題点についても人口の変動、空洞化、国際化の観点から考察してみてください。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 10 | 医療保険制度の体系と被用者保険の仕組み<br>(第７章) | わが国の医療保険制度の体系を理解しつつ、被用者保険の仕組みについて整理する。<br><br>キーワード：診療報酬、審査支払機関、出来高払い、薬価基準、健康保険など | 日本の国民医療を支える医療保険はどのような仕組みで作られているのか、また、被用者保険（健康保険等）の内容の理解に努めます。その際、健康保険制度の給付は、現物給付だけではなく、多様な給付形態が含まれていることに注意が必要です。 |
| 11 | 被用者保険の仕組み<br>(第７章) | 被用者保険の一つとしての健康保険などの仕組みについて理解する。<br><br>キーワード：健康保険、現物給付、現金給付、立替払いなど | 被用者保険（健康保険等）の内容の理解に努めます。その際、健康保険制度の給付は、現物給付だけではなく、多様な給付形態が含まれていることに注意が必要です。 |
| 12 | 国民健康保険、高齢者医療、公費負担医療と医療の供給体制<br>(第７章) | 国民健康保険と高齢者医療制度の仕組みを理解した上で、公費負担医療や医療供給体制について学ぶ。<br><br>キーワード：後期高齢者医療、公衆衛生、コメディカルなど | 地域保険である国民健康保険の仕組みを学びます。また、高齢者の医療制度を前期高齢者医療と後期高齢者医療制度の側面からまとめます。また、医療保険以外の仕組みや医療の提供体制について学びます。 |
| 13 | 労働保険制度の仕組みと現状<br>(第８章) | 労働保険制度の概要と問題点を理解する。<br><br>キーワード：雇用保険、労働者災害補償保険 | 労働保険は雇用されている人々にとっては重要な制度といえます。その労働保険制度に含まれる雇用保険と労働者災害補償保険の仕組みと、それぞれが抱える問題点についてまとめてみましょう。 |
| 14 | 介護保険制度の仕組みと諸問題<br>(第 ９ 章) | 介護保険の成立背景と理念およびその内容、諸問題について理解する。<br><br>キーワード：高齢者介護、スティグマ、社会的入院、介護の社会化、自立支援、利用者本位、地域包括ケアなど | 介護保険がいかなる背景において登場したのか、そして現在ある介護保険はどのような理念のもとに展開されているのかを学びます。その際、その理念に潜む問題点についても制度の仕組みとともに考察してください。 |
| 15 | 社会扶助（公的扶助と社会福祉）と諸外国の社会保障の仕組みと諸問題<br>(第 10、11 章) | 公的扶助および社会福祉の仕組みと特徴と諸問題を理解するとともに、諸外国の社会保障を概観しながら、日本社会保障および福祉国家の特徴を把握する。<br><br>キーワード：児童手当、生活保護、措置と契約、エスピン・アンデルセンなど | 社会保険と比較しつつ理解するとよいでしょう。また、諸外国における社会保障制度をみる際には、類型化させながらみると特徴の把握がしやすくなります。したがって、エスピン・アンデルセンの類型に従って、各国の社会保障の特徴の把握に努めましょう。 |

**■レポート課題**

| | |
|---|---|
| １単位め | 私たちの生活環境の変化を踏まえながら、社会保障をどのように理解したらよいか。そして、現代社会において社会保障（制度）が果たしている役割について述べなさい。 |
| ２単位め | 「年金保険」「医療保険」「雇用保険」「労働者災害補償保険」「介護保険」「社会手当としての児童手当」のなかから一つ選び、仕組みとその制度が抱えている諸問題について述べなさい。 |
| ３単位め | 「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。 |
| ４単位め | 「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。 |

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

【1 単位めアドバイス】

この課題に関しては、テキストの第 1 章、第 2 章、第 3 章、終章などを参照してください。

私たちは、あまり意識せず「社会保障」という言葉を使っていますが、改めて社会保障とは何かを考えてみましょう。今日の私たちの生活（社会保障を取り巻く環境）は、少子・高齢化、人口減少、逼迫する財政問題などを背景にして荒波の中にありますが、まずこのような環境の変化の中で、社会保障がこれまでどのように定義づけられてきたのかを整理してみてください。その上で、社会保障（個別制度ではなく、総体として）が現代社会の中でどのような役割（機能）を果たしているか、をまとめてください。

【2 単位めアドバイス】

「年金保険」「医療保険」「雇用保険」「労働者災害補償保険」「介護保険」「社会手当としての児童手当」の制度から一つを選び、特徴を踏まえながら仕組みをまとめるとともに、制度がもつ諸問題について皆さんなりにまとめてください。その際に、単にテキストをまとめるだけではなく、自分なりに調べて課題を追加的に論述することが重要です。

【3・4 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

## 科目修了試験

■評価基準

1 ）題意を正確に把握し、指示に従って述べられているか。

2 ）単に暗記したものを記述するのではなく、自分なりの視点からまとめられているか。

3 ）抽象的な表現にとどまらず、現実との関連づけの視点からもまとめられているか。

4 ）結論は感想にとどまらず、根拠をもって述べられているか。